

今年はいかに球根に負荷をかけず、球根に適した細やかな管理ができるかが重要になってくると思います。弊社では±0.2℃の精度を有するゆり球根専用の冷凍庫を用いて、商品管理チームが日々球根と向き合い、皆様の大切な球根を管理しております。より良い状態で皆様にお届けできるよう注意深く管理して参りますので、よろしくお願い致します。

〔圃場調査結果（平均値）〕 23年産 / 過去平均値

- 肥大：3.5 サイズアップ / 3.8 サイズアップ
- リン片枚数（外・内）：9.7枚・16.5枚 / 10.7枚・16.9枚
- 芽高さ：31.9mm / 28.4mm、 ○ 茎部幅：5.5mm / 5.5mm



写真：プレミアムブロンド

【 最新の設備による品質向上 】

弊社は11月の収穫期オランダ訪問の際、輸出会社の球根パッキング（箱詰め）機械や冷蔵保管施設を案内してもらっています。

近年、オランダでのパッキングは自動化が進んでおり弊社が取り扱っている4分の3の会社が導入しています。当初は機械の調整が不慣れであったため粗いケースもありましたが、今では精度も格段に向上しています。弊社入荷時の評価でも年々パッキングの品質が向上しているのを見て取れます。また、従来機の時には設備上改善できない工程がありましたが、自動化に伴いパッキング時の重要な点を考慮した設計となっていることも品質向上の要因の一つと考えられます。自動か手動かによるパッキングの品質差は日本での結果でも見られなくなりました。

自動化が進んだ要因の一つに、労働力不足および人件費の高騰があります。同時に機械メーカーの技術向上により球根パッキングの品質が良くなったことも、多くの会社が自動化に乗り換える後押しとなりました。自動化により従来8名前後で運用されていた工程も、今では2、3名での管理となっています。担当者もオランダ人社員のため、コミュニケーションがとりやすく調整や改善が即時にできることも品質の安定につながっています。

弊社も周期的に施設の改修を続けており、設備の保守点検は生ものの球根を扱う上で重要な点の一つと考えております。今後も皆様により良い品質の球根をお届けできるよう、設備の維持・管理ならびに社員一同たゆまぬ努力を重ねて参りますので宜しくお願い致します。

以上、簡単ではございますがご報告とさせていただきます。